

【概要】

1. 新規採用薬 : パキロビットパック / パルモディア
外来限定採用 : 硫酸ストレプトマイシン
臨時採用(患者限定): デュロテップ
2. 供給状況
3. 採用変更 : アロマシン / カルバマゼピン / インドメタシンクリーム
他、後発医薬品→後発医薬品へ変更する薬剤・院内採用中止薬は各論へ
4. 添付文書改訂
5. 添付資料

1. 新規採用

①院内採用

抗ウイルス薬

パキロビットパック 600	19,805.5 円/シート
パキロビットパック 300	12,538.6 円/シート

【診療科名】 感染 【申請医師名】 権 重好

【申請理由】

コロナ治療のため。薬価収載したため、本採用をお願いします。薬価差あるため、2 規格申請が必要です。

【組成】(600)ニルマトレルビル錠 4 錠 リトナビル錠 2 錠
(300)ニルマトレルビル錠 2 錠 リトナビル錠 2 錠

【禁忌】.

2.2 次の薬剤を投与中の患者

アンピロキシカム、ピロキシカム、エトドプタン臭化水素酸塩、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、エプレレノン、アミオダロン塩酸塩、ベプリジル塩酸塩水和物、フレカイニド酢酸塩、プロパフェノン塩酸塩、キニジン硫酸塩水和物、リバーロキサバン、チカグレロル、リファブチン、プロナンセリン、ルラシドン塩酸塩、ピモジド、スポレキサント、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、エルゴメトリンマレイン酸塩、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、フィネレノン、イバブラジン塩酸塩、シルデナフィルクエン酸塩(レバチオ)、タダラフィル(アドシルカ)、バルデナフィル塩酸塩水和物、ロミタピドメシル酸塩、ベネトクラクス<再発又は難治性の慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む)の用量漸増期>、ジアゼパム、クロラゼパ酸二カリウム、エスタゾラム、フルラゼパム塩酸塩、トリアゾラム、ミダゾラム、リオシグアト、ポリコナゾール、アパルタミド、カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、ホスフェニトインナトリウム水和物、リファンピシン、セイヨウオトギリソウ(St.John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品

2.3 腎機能又は肝機能障害のある患者で、コルヒチンを投与中の患者

【効能効果】 SARS-CoV-2 による感染症

【用法用量】

通常、成人及び 12 歳以上かつ体重 40kg 以上の小児には、ニルマトレルビルとして 1 回 300mg 及びリトナビルとして 1 回 100mg を同時に 1 日 2 回、5 日間経口投与する。

→院外処方でも処方可能となります。

脂質異常症治療薬

パルモディア錠 0.1 mg 33.1 円/錠

【診療科名】循環器内科 【申請医師名】屋形智之

【申請理由】既存のフィブラート系薬と比較して中性脂肪の降下作用に問題なく、スタチン系薬との併用も可能で肝障害への有効性も期待されている薬品です。既存の薬物と比較して安全に使用できる可能性が高いため、採用をご検討下さい。

【組成】ペマフィブラート 0.10mg

【禁忌】

- 1.本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.重篤な肝障害、Child-Pugh 分類 B 又は C の肝硬変のある患者あるいは胆道閉塞のある患者〔肝障害を悪化させるおそれがある。また、本剤の血漿中濃度が上昇するおそれがある。〕(「薬物動態」の項参照)
- 3.胆石のある患者〔胆石形成が報告されている。〕
- 4.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人(「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)
- 5.シクロスポリン、リファンピシンを投与中の患者(「相互作用」及び「薬物動態」の項参照)

【効能効果】高脂血症(家族性を含む)

【用法用量】

通常、成人にはペマフィブラートとして1回0.1mgを1日2回朝夕に経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大用量は1回0.2mgを1日2回までとする。”

②外来患者限定採用

抗菌薬

硫酸ストレプトマイシン注射用 1g 396 円/瓶

【診療科名】呼吸器内科 【申請医師名】四竈 純

【申請理由】肺結核治療のため、代替薬がないため

【効能効果】

〈適応菌種〉ストレプトマイシンに感性のマイコバクテリウム属、ペスト菌、野兔病菌、ワイル病レプトスピラ
〈適応症〉

感染性心内膜炎(ベンジルペニシリン又はアンピシリンと併用の場合に限る)、ペスト、野兔病、肺結核及びその他の結核症、マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症、ワイル病

【用法用量】

[肺結核及びその他の結核症に対して使用する場合]

通常、成人にはストレプトマイシンとして1日1g(力価)を筋肉内注射する。週2~3日、あるいははじめの1~3ヵ月は毎日、その後週2日投与する。また必要に応じて局所に投与する。

ただし、高齢者(60歳以上)には1回0.5~0.75g(力価)とし、小児あるいは体重の著しく少ないものにあつては適宜減量する。なお、原則として他の抗結核薬と併用する。

[マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)症を含む非結核性抗酸菌症に対して使用する場合]

通常、成人にはストレプトマイシンとして1日0.75~1g(力価)を週2回または週3回筋肉内注射する。年齢、体重、症状により適宜減量する。

[その他の場合]

通常、成人にはストレプトマイシンとして1日1~2g(力価)を1~2回に分けて筋肉内注射する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

③臨時(患者限定)採用

癌性疼痛治療薬

デュロテップMT パッチ 16.8mg 9,294.8 円/枚

【診療科名】外科 【申請医師名】伊藤英人

【申請理由】癌性疼痛がひどく、増量が必要となっているため、規格の多いのを希望します。

【組成】フェンタニル 16.8mg

2. 供給

●出荷停止・出荷調整

・ロイコボリン注 3mg (319 円/注 ファイザー社)

: 海外委託製造所において、本製品を含め他国向け、製品等、複数の製品に対する製造遅延が発生
在庫消尽次第販売停止。2024 年後期出荷再開予定。

・コントミン糖衣錠 12.5mg(9.4 円/錠)

: 品質試験(溶出性)が出荷基準を満たさないロットが確認されたため原因究明を目的に製造一時停止。
→在庫消尽次第、院内マスタ閉鎖致します。

●出荷再開

・クラシエ麻黄湯エキス細粒

・メナテレノンカプセル15mg「YD」

・ラフチジン錠10mg「YD」

・ロフラゼブ酸エチル錠 1mg「サワイ」

3. 採用変更

①内服

・アロマシン錠 25 mg(221.9 円/錠) → エキセメスタン錠「NK」(141.7 円/錠)

・カルバマゼピン錠 100mg「アメル」(5.7 円/錠) → テグレート錠 100mg (5.9 円/錠)

: 出荷停止に伴う変更 2024 年 7 月以降再開予定

・ジピリダモール 25mg「日医工」 → 「トーワ」

: 販売停止に伴う採用変更

・ベニジピン塩酸塩錠 4 mg「日医工」 → 「NPI」

: 販売停止に伴う採用変更

・ベンズブロマロン錠 50mg「日医工」 → 「NPI」

: 販売停止に伴う採用変更

②注射

・ダイホルモン・デポー注(男性・卵胞ホルモン混合製剤 386 円/菅): 販売中止、告知済

→ プリモジアン・デポー注(男性・卵胞ホルモン混合製剤 530 円/菅)

③外用

- ・インドメタシンクリーム「日医工」(2.1 円/g) → インテバンクリーム (4.3 円/g)
:在庫消尽次第販売終了
- ・ポビドンヨードゲル 10%「明治」 → 「VTRS」
:販売停止に伴う採用変更

④院内採用中止 (在庫消尽次第終了)

- ・エベレンゾ錠 20 mg (入院/外来共通で採用終了) :ダーブロックへ院内採用統一
- ・エベレンゾ錠 50 mg (入院/外来共通で採用終了) :ダーブロックへ院内採用統一
- ・クロルマジノン酢酸エステル錠 25mg「日医工」 :販売停止に伴う院内採用終了
- ・レトゾール錠 2.5mg「日医工」 :在庫消尽後販売停止に伴う院内採用終了
- ・ベザフィブラート SR 錠 200 mg「サワイ」 :パルモディア採用に伴う院内採用終了
- ・ロナプリーブ注射液セット :感染委員より削除許可あり
- ・ゼビュディ点滴静注液 500 mg :感染委員より削除許可あり

4. 添付文書改訂 (下線部:変更箇所)

5-FU 注 250mg,1000mg (一般名:フルオロウラシル)

●効能効果追加

レボホリナート・フルオロウラシル持続静注併用療法

:結腸・直腸癌、小腸癌、治癒切除不能な膵癌、治癒切除不能な進行・再発の胃癌

エルプラット点滴静注液 50mg,100mg,200mg (一般名:オキサリプラチン)

●効能効果追加

結腸癌における術後補助療法

エンハーツ点滴静注用 100mg (一般名:トラスツズマブ デルクステカン)

●効能効果追加

化学療法歴のある HER2 低発現の手術不能又は再発乳癌

オブジーボ点滴静注 20mg,100mg,120mg,240mg (一般名:ニボルマブ)

●効能効果追加

非小細胞肺癌における術前補助療法

スピロラクトン錠 25mg「トーワ」(商品名:アルダクトン)

●禁忌追加

エサキセレン(商品名:ミネプロ)投与中の患者

●併用注意追加

フィレノン(商品名:ケレンディア)

パロキセチン錠 5mg,10mg,20mg「日新」(商品名:パキシル)

●使用上の注意改訂

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(10)QT 間隔延長又はその既往歴のある患者、心疾患又はその既往歴のある患者〔QT 間隔延長を起こすおそれがある。〕

●併用禁忌追加

MAO 阻害剤 セレギリン塩酸塩 エフピー <u>ラサギリンメシル酸塩</u> <u>アジレクト</u> <u>サフィナミドメシル酸塩</u> エクフィナ	セロトニン症候群があらわれることがある。MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 2 週間以内の患者には投与しないこと。また、本剤の投与中止後 2 週間以内に MAO 阻害剤の投与を開始しないこと。(「副作用 重大な副作用」の項参照)	脳内セロトニン濃度が高まると考えられている。
---	---	------------------------

5. 添付資料

院内採用薬の供給停止・出荷調整薬について(2023 年 4 月 25 日更新)

医薬品・医療機器等安全性情報 No.400

DSU No316

医療安全情報 No.197 「離床センサーの電源入れ忘れ」

ウログラフィン適応変更に伴う院内使用について

ウログラフィン使用上の注意改訂のお知らせ

コントミン糖衣錠 出荷停止のお知らせ

ロイコボリン注 3mg 供給に関するお詫びとお願い(第3報)